



地域雇用対策情報マガジン「地域雇用 NOW！」No. 86

実践型地域雇用創造事業シンポジウムを 開催します！！

平成30年10月11日(木)に実践型地域雇用創造事業シンポジウムを今年も開催いたします！

今回のメールマガジンでは、シンポジウムの概要をわかりやすくご紹介します！
ぜひ最後までご覧いただき、少しでも参考にしてください！

『実践型地域雇用創造事業シンポジウム』

日時：平成30年10月11日(木)

13:00~17:15 (開場12:00)

場所：東京国際交流館 国際交流会議場

(東京都江東区青海2-2-1)

参加費：無料

定員：300人程度

予約必須



会場は、例年通り東京国際交流館の国際交流会議場です。

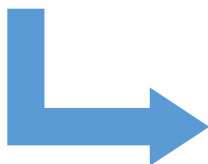
最寄り駅

ゆりかもめ 「船の科学館」

東出口より徒歩約3分

りんかい線 「東京テレポート」

B出口より徒歩約15分



会場の詳細地図はこちら





突然ですが、ここで皆さんに質問です！！

Question

実践型地域雇用創造事業とは、いったいなんですか？

Answer

雇用機会が不足している地域での自発的な雇用創造への取組を支援するため、地域の協議会が提案した事業構想の中から、地域の雇用機会を増大させる効果が高いものや、地域産業及び経済の活性化に資すると認められる案を選出、実施する制度のことです。

地域における雇用創出や経済の活性化は、非常に大切ですよね。

しかし、急にいわれても、そんなの困ってしまいませんか？

そんなみなさんのために、このシンポジウムはあるのです。

実践型地域雇用創造事業での取り組みを紹介し、地域雇用の専門家の方々に講演をしていただくといった内容を予定しています。

ぜひこのシンポジウムで、創意工夫が凝らされた多くのアイデアを吸収して、地域の活性化に生かしていただきたいと思います。

プログラム

- 13:00～ 主催者あいさつ
- 13:05～ 司会者開会あいさつ
- 13:10～ 実践型地域雇用創造事業 事例紹介
- 14:00～ 基調講演
- 15:00～ 休憩(30分間)
- 15:30～ パネルディスカッション
- 16:50～ 成果物コンテスト表彰

では、プログラムの各イベントを昨年の様子とともに紹介していきます。



事例紹介

ここでは、実践型地域雇用創造事業での取り組み事例を
2地域に映像を用いた発表で紹介していただきます。
今年、滋賀県高島市と沖縄県糸満市です。

たかしま 滋賀県高島市

たかしまの未来を創る
シゴトおこしプロジェクト
～ひと・もの・こと・地域
資源を活かした雇用創出～

いとまん 沖縄県糸満市

魅力と活気に満ちた輝く
未来へとつながるまち
ITOMAN～イチマンがイチバ
ンプロジェクト～

去年は、埼玉県加須市と沖縄県宮古島市の2地域に取り組みを紹介していただきました。

基調講演

今年、山崎亮氏にご講演いただきます。
地域雇用活性化のヒントを見つけ出すことができるの
ではないでしょうか。



山崎 亮 氏

(studio-L 代表・コミュニティデザイナー・
社会福祉士)

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトを多く手がける。



パネルディスカッション

パネルディスカッションは、事前に参加される皆様からテーマを募集し、皆様の関心が高

いものを取り上げます。

貴重な機会ですので、自分自身が活動していく中で疑問に思ったことや不安に思うことはここで解決しましょう！

昨年のテーマは、以下の2点でした。

- ① 地域の資源、魅力をどう取り上げていったらいいのか
- ② 地域間の連携のあり方



コーディネーター



まち・ひと・しごと創生会議 有識者委員

樋口 美雄 氏

(独立行政法人 労働政策研究・研修機構 理事長)
1952年栃木県生まれ。商学博士。一橋大学経済学部研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授、慶応義塾大学商学部教授等を経て現職。慶応義塾大学大学院特任教授を兼務。専門は労働経済学・計量経済学。厚生労働省労働政策審議会会長など。

メンバー

- ・ 福井 正明氏 (滋賀県高島市長)
- ・ 金城 靖氏 (沖縄県糸満市副市長)
- ・ 山崎 亮氏 (studio-L 代表・コミュニティデザイナー・社会福祉士)
- ・ 野長瀬 裕二氏 (地域雇用開発支援ワーキングチーム・摂南大学経済学部教授・一般社団法人首都圏産業活性化協会会長)

成果物コンテスト

会場内では、シンポジウムと並行して地域の協議会が開発した商品等の成果物を展示・投票して、食品部門・ものづくり・観光・ブランド化部門のそれぞれ1位を決めるコンテストも開催されています！



こちらは昨年の成果物コンテストの様子です。

昨年は、食品部門に28地域、ものづくり・観光・ブランド化部門に15地域のエントリーがありました。

さまざまな地域の知恵が詰まった成果物をぜひご覧ください。
食品部門は試食できるものもありますので、味わってみてください！



ではここから、昨年に投票で選ばれた商品を紹介します！！

食品部門
第1位

糸満市地域雇用創造推進協議会
かまべた



もずくと海ぶどうという沖縄らしい食材を練り込んだすり身をノンフライで仕上げ、魚のうまみを凝縮した濃厚な味わいの一品です。

お土産としての完成度が高く、味もちろんですが見た目も美しいといった意見が多くありました。

ものづくり部門
第1位

加須市地域雇用創造協議会
フリザーフードフラワー



加須市内で栽培されている花を使用し、一旦水を抜き、保存液と共に着色することでみずみずしさを保ちつつ、長期保存を可能とした品です。魅力的で興味がそそられる商品となっている。今の流行にマッチしているなどの意見が多くありました。

食品部門
特別賞

高島地域雇用創造協議会
たかしま発酵の雫



様々な発酵食品がある地域の特徴を活かして作成された5つの味を楽しめるクッキーです。商品化され売れ行きも好調な一品です。

ものづくり部門
特別賞

南城市地域雇用創造協議会
ハーバルバスソルト



天然ハーブと久高島の海水塩を使用したハーバルバスソルトです。香りはもちろんのこと、色合いもとても素敵という意見が多くありました。



いかかでしたか??

とても有意義なシンポジウムではないでしょうか。

少しでも興味を持たれた方は、ぜひお越しください!!

以上でシンポジウムの紹介を終わります。

最後までご覧いただきありがとうございました!

シンポジウムの申し込みは、インターネットの申し込みフォームから受け付けています。

申し込み締め切りは、**平成30年10月4日(木)**です!

※締め切り後に参加を希望される場合は、お近くの都道府県労働局までご相談ください。

また、FAX や E-mail でのお申し込みも受け付けています。

その場合は、実践型地域雇用創造事業シンポジウムの公式リーフレット裏面に記載の必要事項をご記入の上、お申し込みください。

▼実践型地域雇用創造事業のホームページはこちらです▼

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000048510.html>

=====
(担当)

厚生労働省 職業安定局 雇用開発部 地域雇用対策課 地域雇用指導係
=====

注1) 本メルマガにより、地域雇用対策の情報を随時お届けいたします。

あらかじめ登録された方のメールアドレス宛お送りしていますが、ぜひ、組織・部署内の皆様に転送していただき、情報を共有していただければ幸いです。

注2) メールアドレスを変更される場合は、同様に各都道府県労働局を通じてご連絡下さるようお願いいたします。なお、配信不能となったメールアドレスは宛先から削除させていただきますので、ご注意ください。

注3) 本メルマガにつきまして、「このようなコンテンツを掲載して欲しい」などのご要望がございましたら、jissen-team@mhlw.go.jp までお寄せ下さい。